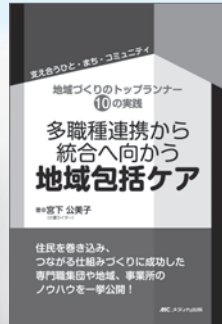


『破綻からの奇蹟
～いま夕張市民から学ぶこと～』
森田洋之 著
南日本ヘルスリサーチラボ
1296円(税込)
※Amazonと南日本ヘルスリサーチ
ラボホームページのみでの販売



『多職種連携から統合へ向かう
地域包括ケア：地域づくりのトッ
プランナー10の実践』
宮下公美子 著
メディカ出版
2376円(税込)

『地域包括ケアに欠かせない多彩な資
源が織りなす地域ネットワークづくり
—高齢者見守りネットワーク「みまーも」
のキセキ』
おおた高齢者見守りネットワーク 編集
ライフ出版社
2700円(税込)



Profile

さわのぼり・ひさお

社会医療法人財団仁会牧田総合病院地域ささえあいセンターセンター長。社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士。おおた高齢者見守りネットワーク(みまーも)発起人として、設立時から活動

地 域包括ケアシステムの構築が進められるなか、医療機関では「地域に出て行くこと」が重要なミッションになりつつあります。しかし、実際にはどうしたらよいかわからないという声も少なくありません。そこで、具体的な一歩を踏み出すために背中を押してくれる書籍をご紹介します。

一冊目は、『破綻からの奇蹟』。財政破綻した夕張市で診療所所長を務めた筆者が、予防医療と在宅介護の充実により住民の意識改革に成功し、病院がなくなったにもかかわらず死亡率は横ばい、医療費の削減に成功した地域の軌跡をわかりやすく説明しています。地域医療とは何か、医療の未来を見据えて今の時代に何をすべきか、多くのヒントが得られる一冊です。

地 域包括ケアシステムを推進するため、医療機関同士や専門職同士の顔の見える連携体制構築に取り組んでいる地域はたくさんありますが、うまくいっているところは多くないのが現状です。そうした状況を打開するうえで『多職種連携から統合へ向かう

地域包括ケア…地域づくりのトップランナー10の実践』はとても参考になります。住民がその人らしく生きることをどのように支援するか、専門職は地域にどのように寄り添うか。地域包括ケアシステムの主体は地域であるという本質を改めて気づかせてくれます。

最 後に紹介するのが、私たちをまとめた『地域包括ケアに欠かせない多彩な資源が織りなす地域ネットワークづくり—高齢者見守りネットワーク「みまーも」のキセキ』です。地域包括ケアシステムの拠点と位置づけられている地域包括支援センターが何をすべきかイメージすら持てなかった時代から、地域をベースに私たちが取り組んできたことをまとめました。私たちが構築してきた手法を、ほかの地域で取り入れていただくヒントになればという思いから、東京都健康長寿医療センター研究所の野中久美子氏らに編集に加わっていただき、客観的な視点から理論として整理しています。皆さんが地域づくりに向けて動くための一助となれば幸いです。

『多職種連携から統合へ向かう地域包括ケアに欠かせない多彩な資源が織りなす地域ネットワークづくり』